

授 業 科 目 名	作 業 療 法 評 価 学 II	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	猪 川 俊 博、木 村 公 亮	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>評価の概念と基本的・一般的な評価法を学習する。また、障害像の把握に必要な評価技術の方法について学習する。精神障害に対する評価の概念と、実技を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>面接の基本となる、適切な関わり行動・傾聴の技法を使うことができる。 評価用紙を用い、客観的な評価を行うことができる。 非言語的メッセージの観察ができる。 日常生活活動や社会生活行為に関する評価ができるための知識・技術を身につける。 生活行為向上マネジメントの基本を学ぶ。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	心理社会評価①（精神障害における機能障害・活動制限・参加制約）	〔猪川〕	
第 2 回	心理社会評価②（精神障害に対する評価の概要）	〔猪川〕	
第 3 回	心理社会評価③（面接の基本技法）	〔猪川〕	
第 4 回	心理社会評価④（インテイク面接）	〔猪川〕	
第 5 回	心理社会評価⑤（質問紙法・ケアアセスメント）	〔猪川〕	
第 6 回	心理社会評価⑥（観察技法）	〔猪川〕	
第 7 回	心理社会評価⑦（観察技法・作業遂行能力評価）	〔猪川〕	
第 8 回	心理社会評価⑧（観察技法・ウォッチングリスト・精神機能評価表）	〔猪川〕	
第 9 回	心理社会評価⑨（作業面接）	〔猪川〕	
第 10 回	心理社会評価⑩（作業面接・箱づくり法）	〔猪川〕	
第 11 回	生活機能評価①（日常生活活動）	〔木村〕	
第 12 回	生活機能評価②（生活関連活動）	〔木村〕	
第 13 回	社会生活行為の評価	〔木村〕	
第 14 回	生活行為向上マネジメント①	〔木村〕	
第 15 回	生活行為向上マネジメント②	〔木村〕	
評価方法	定期試験（100％）により評価する。		
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 作業療法の面接技術（三輪書店） 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学（医学書院）</p>		
履修上の 留意点	常に作業療法士の態度としての緊張感をもって、座学・ロールプレイに参加すること		
メッセージ	評価は訓練や目的を立案する上でも重要な科目となります。臨床実習でも必ず必要になってくる科目ですので1年時に評価の礎をしっかりと築いて下さい。		